

平成27年1月三木市教育委員会（定例会）会議録

◇ 日 時

- 1 開 会 平成27年1月21日（水）午後2時00分
- 2 閉 会 平成27年1月21日（水）午後4時45分

◇ 場 所 三木市役所 2階 職員厚生室

◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 会議録の承認
- 4 審議事項
 - (1) 議決事項
議案第13号 平成26年度三木市スポーツ賞被表彰者の決定について
 - (2) 協議事項
協議事項16 平成27年度三木市教育の基本方針の策定について
協議事項17 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
 - (3) 報告事項
- 5 その他
 - (1) 次回定例会教育委員会の開催日時について
- 6 閉 会

◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	教 育 委 員 長	里 見 俊 實
	2番	教育委員長職務代行者	水 島 慶 子
	3番	教 育 委 員	稲 見 秀 穂
	4番	教 育 委 員	井 口 徹
	5番	教育委員（教育長）	松 本 明 紀
事務局		教 育 部 長	山 本 公 大
		教 育 総 務 課 長	石 田 寛

教育環境整備課長	貞松保夫
学校教育課副課長	横田浩一
文化スポーツ振興課長	松村正和
教育センター所長	大東豊
図書館長	告野幹也
教育総務課主査	五百蔵一也
教育総務課主事	八代醒典之

傍聴者 3人

◇ 会議内容

委員長が議事の進行について、議案第13号は被表彰者の決定に係る案件であるため、また、協議事項17は議会案件であるため、三木市教育委員会会議規則第7条第1項ただし書きの規定により、会議の最後において、非公開で審議することについて委員に諮り、同意された。

1 開 会

委員長が、平成27年1月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、井口委員と松本教育長を指名した。

3 会議録の承認

委員長が、平成26年12月定例会（19日開催）の会議録について委員に諮ったところ、委員長から一部表現について修正を求める発言があった。委員長がこのことについて委員に諮り、全員一致で承認された。

4 審議事項

(1) 議決事項

【協議事項 16】平成27年度三木市教育の基本方針の策定について

○横田学校教育課副課長が次のように説明した。

平成27年度の基本方針について、平成26年度からの変更点を中心に説明する。

項目として追加しているのは、幼保一体化、小学校等の英語教育、新設図書館、市の機構改革及び新教育委員会制度に係る内容である。

次に、全体の構成について、27年度の重点施策を教育の目標のページに追加で掲載する。また、安全・安心な学校づくり、学力の向上、幼保一体化等を重点として盛り込むことで、特に教職員にメッセージとして伝わりやすくする。幼保一体化については、保育所（園）の一覧を、機構改革、新教育委員会制度及び小学校の英語教育推進事業については、関連資料を掲載する。

次に、施策について、平成26年度「幼児期の教育の充実」としていた項目を、「就学前教育・保育の推進」に変更し、内容も幼保一体化を見据えたものとしている。確かな学力の向上については、グローバル化に対応した教育の推進を項目として追加している。市民ニーズに対応した図書館の充実については、新設図書館のオープンを見据え、相互貸借・搬送業務に係るネットワークの推進を追加している。併せて、それぞれの具体的な取組内容として、重点項目にはその旨を付記し、教職員が重点的に取り組むべき項目がわかりやすいようにしている。

(稲見委員) 3の「豊かな心」の育成について、1 人権教育・多文化共生教育の推進、2 我が国や郷土の伝統と文化に関する教育の推進、3 道徳教育の充実という順で記載されているが、優先度の高い順に記載されているのか。

(横田学校教育課副課長) 優先順位ということではなく、全て大事なものだと考えている。

(稲見委員) 教育基本法が改正される中で、最も議論されたのが我が国の郷土あるいは国を愛する心・態度についてである。あれだけ

議論されたことが、三木市教育の基本方針の中では、軽く扱われているように思う。戦後日本の教育に欠けていた部分であり、そういったことを議論してこなかった経緯がある。「豊かな心」の育成とは別に項目を設けて触れるべきだと考える。事務局はその点検討していただきたい。また、多文化共生教育と我が国や郷土の伝統と文化に関する教育の推進との優先順の記載ではないとしても、記載の順序は、やはり検討が必要である。自分の国の文化や伝統を理解し、国を愛することができて、その上で他国に対する敬意を表すことができるようになる。自国に対して自虐的な感情を持って、他の国を心から敬うことはできない。自国に対する誇りを持ち、それで他の国に対しても同じように敬意を持って接するという順序があると私は考える。

(松本教育長) 「豊かな心」を育てる体制があり、その施策を積み上げるための順序で記載している場合もある。一方で並列的な施策もある。項目の追加や、記載順序について検討するとともに、なぜ、この記載順なのかということの説明できるようにしたい。

(井口委員) 昨年度に続き、教職員の勤務時間の適正化について記載しているが、改善されているのか。

(横田学校教育課副課長) 定時退勤日は教職員の間で浸透してきている。ノー会議デー、ノー部活デーについても取組を進め、ほぼ浸透してきている。

(里見委員長) 例えば水曜日だけ定時退勤日として早く帰ってもあまり意味がない。トータルとして、どの程度勤務時間を削減できているかが重要である。職員の増員、過大な報告書等の作成の廃止など、県の教育委員会へもっと働きかけていくことが必要であるし、そのような具体的な取組により勤務時間の適正化を図っていくべきである。

(井口委員) 図書館の項で、YA（ヤングアダルト）層への読書啓発とあるが、現状をどのように捉えているか。

(告野図書館長) ヤングアダルトについて、明確に何歳から何歳までという定義はないが、小学校高学年から大学生までの年代の読書率・関心度が低く、この年代の読書啓発が課題だと認識している。ビブリオバトルへの参加等、読書に係る活動に幅広く取り組んでいきたい。

(水島委員長職務代行者) 小・中学校の統合が新聞で取り上げられている。三木市においても少人数の学級・学校が多数あるのが現状である。9ページで校種間の連携を項目としてあげているが、学校間の交流や連携についても、具体的な取組を示し、推進していくべきだと考える。

(松本教育長) 学校の統廃合について、一昨日文部科学省が指針を示している。学年1クラスの小・中学校は、子どものことも考えてできるだけ速やかに統廃合に向けた取組を進めるように、ということである。一方で、全国にも事例があるとおり、統廃合しない手法も検討する余地がある。三木市においては少人数教育で成果をあげている部分もあるし、一方で討論等ではやはり多人数で行った方が多様な意見に触れることができる。学校間で連携が求められる場合に、拠点校を定め、スクールバス等の配置等も含め、取組を現在検討しているところである。

(里見委員長) 学校の統廃合は、単に学校教育の面だけではなく、社会教育やまちづくりの根幹に関わってくるものである。今回文部科学省が一定の基準を示したが、学校の事情、地域の事情、色々なことを勘案しながら議論を進めてほしい。

今回総論の部分は白紙になっているが、この部分を読めば基本的なことが大体わかるようなものとしてほしい。また、幼保一体化について、保育の部分はどのように取り扱うのか。あくまで教育の基本方針であるから、幼保一体化についても教育に係る部分のみ記載するのか。それとも、保育と教育を一本化していく流れに沿って、一元的に取り扱っていくのか。さらに市長部局に創設される総合教育会議については、どのような位置づけとして取り扱っていくのか。

(松本教育長) 幼保一体化については、平成27年度からの機構改革も含め、0歳から15歳まで切れ目なく育てるという視点に基づいている。したがって、市長部局とも協議しながら、補助執行する保育部分も含めて、教育委員会として指針を示すべきだと考えている。

(稲見委員) 幼保一体化については、計画案の中で、三木市が消滅可能性都市にならないように必要な施策であると示している。その意味で、単に教育的な側面からのみ説明するのではなく、まちづくりという側面を捉えて、指針を示していくことを検討してほしい。

(里見委員長) 学校のために地域があるわけではない。地域の発展とまちづくりのために学校がある。教育委員会として守っていかなければいけない部分も当然あるが、市長部局と切っても切り離せない部分、協働が必要な部分を勘案しながら、基本方針としてまとめてもらいたい。

(2) 報告事項

ア 教育総務課報告事項

○石田教育総務課長が次のように報告した。

被顕彰者の決定について、三木市教育委員会顕彰規則第2条の規定により、次のとおり三木市教育委員会被顕彰者を決定したので報告する。高橋伸彰様が緑が丘東小学校に、大型扇風機14台、総額約30万円相当を寄附されたので、感謝状を贈呈した。贈呈日は、平成27年1月7日である。

イ 教育環境整備課報告事項

○貞松教育環境整備課長が次のように報告した。

登下校時における児童の安全を確保するため、小学校及び特別支援学校で、防犯ブザーを所持していない全ての児童に、平成27年2月中旬までに防犯ブザーを貸与する。

次に、学校給食週間の実施について、1月26日から30日までを、「“食”で日本一周旅行2015」と題し、日本全国の郷土食と食材を知るため、北海道から沖縄までの色々な地域の献立や三木

市内産100%の献立を提供する。

(井口委員) 「“食”で日本一周旅行2015」について、主食が、コッペパン、麦ご飯、さつまいもパン、黒豆ご飯と非常にバラエティに富んでいるのが素晴らしい。

ウ 学校教育課報告事項

○横田学校教育課副課長が次のように報告した。

第10回の定例校園長会を1月8日に開催した。議題は、小・中連携教育にかかる実態調査について、平成27年度三木市立幼稚園入園予定児童数・クラス数について、平成27年度教職員人事異動等についてである。中学校のスキー実習を実施している。今のところ事故の報告もなく、無事実施できている。1月20日に、いじめ・不登校フォーラムを開催し、スマホ時代に大人も含めどのように対応していくのか、ということについて講義していただいた。

1月9日、緑が丘中学校の転落事故から1年が経過した。当該の中学校においては、全校集会、校長訓話、各クラスでの指導を行っている。当該の学年については、亡くなられた生徒さんへそれぞれ生徒が書いたメッセージをご家族に届けている。教職員については、職員朝会で黙祷した後、学校安全に関する校長の訓話を、各学校で行った。

今後の予定として、三木市立学校園造形作品展が、1月24日から26日まで開催される。また、小学校・特別支援学校芸術鑑賞会を1月26日に実施する。私立高校の入試が2月10日、公立高校の推薦入試が2月14日となっている。

(稲見委員) 小・中連携教育にかかる実態調査について、どのような意見が出ているか。

(横田学校教育課副課長) 小学校6年生時と、中学1年生のときに2回実施しているが、小学校のときは学習面や部活、友達関係に不安があるという意見が多いが、中学校に実際入ってみると、不安感は軽減されているという傾向にある。

エ 教育センター報告事項

○大東教育センター所長が次のように報告した。

教育センターの事業として、教育相談については、電話179件、面接54件の計233件であった。青少年悩みの相談は52件、発達教育相談は2件であった。不登校対策適応教室は、現在9名の通級があり、1月7日から3学期の通級が始まっている。

今後の予定として、不登校・適応教室関係については、1月22日に県立考古博物館で校外学習を、2月3日に三木南交流センターで調理実習を予定している。CGアートコンテスト作品審査会については、1月23日に実施し、その後2月14日に表彰式を行い、2月16日から3月1日まで、市役所プロムナードで作品を展示する。

次に、青少年センターの事業として、子ども安全・安心の日立番、白ポストの回収を実施した。12月25日から28日にかけては、年末特別補導、1月11日には成人式特別補導を実施した。

今後の予定として、近隣中学校生徒指導連絡協議会を1月29日に、中播地区高等学校生徒指導協議会を三木東高等学校で2月3日に、第8回の役員会を2月6日にそれぞれ実施する。

オ 文化スポーツ振興課報告事項

○松村文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

映画上映会を実施した。第1回が、平成26年12月20日に文化会館小ホールで、作品名は「じんじん」である。第2回は、平成26年12月23日に文化会館大ホールで、作品名は怪傑ゾロリ「きょうりゅうのたまご」である。第3回は、平成27年1月11日に文化会館小ホールで、作品名は「そして父になる」である。第1回の作品については、文部科学省の推薦されているもので、市民と行政が連携して上映していこうという映画である。県下では、三木市以外にも7市町で上映に取り組まれている。第2回の企業対抗ゴルフが、平成26年12月21日に、センチュリー三木ゴルフ倶楽部で開催された。市内から18チームが出場し、優勝はときわ病院さん、準優勝は岡田金属工業さんとなっている。第7回の歴史ウォークを、12月21日に開催した。三木のサービスエリアで昼食をとるという形で、今までとは違った形態で実施している。参加は68名であった。みっきいジュニアゴルフ大会を、12月26日に美奈木ゴルフ倶楽部で開催した。小学生12名が参加した。第67回三

木市成人式を、平成27年1月11日に文化会館大ホールで開催した。参加は601名で、77.4%の出席率となっている。

今後の予定として、子どもたちの芸術鑑賞事業として、1月26日に文化会館大ホールで、劇団四季ファミリーミュージカル「ふたりのロッテ」が公演される。劇団四季と一般財団法人舞台芸術センター主催の「こころの劇場」として開催されるもので、市内小・特別支援学校6年生を対象としている。第61回三木市展が、2月5日から8日まで、かじやの里メッセみきで開催される。表彰式は、2月8日午後2時30分からとなっている。三木市スポーツ賞表彰式を、2月21日に教育センター4階大研修室で行う。平成26年の1年間における体育・スポーツの県大会以上の大会において、優秀な成績を収めた個人・団体に優秀賞・奨励賞を授与する。また、あわせて本市スポーツの普及と発展に貢献された指導者に、教育功労賞を授与する。

次に、平成26年度三木市教育功労賞被顕彰者の決定について報告する。三木市教育委員会顕彰規則第2条第3号に基づき、スポーツ振興に貢献された方について、教育委員会より感謝状を贈呈する。感謝状の贈呈は2月の予定である。

(水島委員長職務代行者) 毎年スポーツに係る表彰はあるが、文化に係る分野での表彰は行わないのか。

(松本教育長) 3年越しの課題となっている。特に今年度は税の作文で内閣総理大臣賞を受賞された方もおり、制度設計が必要である。

(稲見委員) 映画上映会について、上映作品の選考過程はどのようなものか。

(松村文化スポーツ振興課長) 公募の委員7名で実行委員会を作り、その中で作品を決定している。

(稲見委員) 選考委員会がある以上、我々が何か言うこともないが、古典的な名画も入れるべきではないだろうか。日本の古典的名画で、世界で評価されている作品も多い。しかしながら、そういった作品の多くが映画館で見ることができない。そういう名画を映

画館で見る機会を与えてほしいと思う。

(里見委員長) 予算の問題もあるが、PRを大いにしてもらいたい。

(松村文化スポーツ振興課長) 文化会館の事業であるため、文化会館にチラシを作成していただき、各戸配布や新聞の広告欄掲載も実施しており、可能なPRは実施している。

カ 図書館報告事項

○告野図書館長が次のように報告した。

新設図書館の進捗状況について、建築・電気・機械工事は工程どおりに進捗している。広報みき2月号でお知らせする予定としているが、外構工事に伴い文化会館駐車場出入口が通行止めとなる。

一般向けの映画上映会として、吉川図書館多目的室で、「人生、いろどり」という作品を、1月18日に上映した。

今後の予定として、ブックスタート事業、ストーリーテリング、だっこで絵本を例月どおり実施する。

次に、別紙の三木市立図書館閉館イベントについてである。現在の図書館が33年の役割を終えることに感謝して、現在建設中の新しい図書館にその魅力をつなぎ、さらに発展するためのファイナルイベントを開催する。「ありがとう33年～新しい図書館に生まれ変わります～」というタイトルで、ときの流れとともに遠くなる記憶と情景 今、去り行くものに惜別し、新たな船出とします、というものを基本的なコンセプトとして、実施する。予定しているイベントは、2階展示コーナーでの写真や歴史資料館資料の展示、図書貸出冊数の増、図書のリサイクル市、共催ボランティアイベント、市民古本市である。ボランティアイベントでは、ビブリオバトルや読み聞かせのリレー、古文書講座の見学等を行う。

3月以降のスケジュールとして、現在の図書館が5月から閉館し、新設図書館の竣工式が7月1日、同2日・3日を内覧期間とし、4日から本の貸出をスタートする予定である。5月、6月の期間については、教育センターに臨時の図書館を開設したいと考えている。

5 その他

(1) 次回定例教育委員会の開催日時について

委員長が、次回の定例教育委員会の開催予定日時について諮り、平成27年2月18日（水）、午後2時から開催することを決定した。

(非公開)

【議案第13号】平成26年度三木市スポーツ賞被表彰者の決定について

議案第13号は、三木市教育委員会会議規則第7条第1項ただし書きの規定により、非公開として審議したため、同規則第32条の規定により、内容については記載しない。

委員長が、議案第13号について採決を行い、一部修正のうえ可決された。

【協議事項17】地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

協議事項17は、三木市教育委員会会議規則第7条第1項ただし書きの規定により、非公開として審議したため、同規則第32条の規定により、内容については記載しない。

6 閉 会

委員長が、平成27年1月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。